

「腐敗に取り組まなければ、貧困の軽減対策、気候変動対策を危険にさらす」と TI は述べた。

ロシアのメドヴェージェフ大統領には、議会で述べた腐敗と戦う約束を、サミットの間でも示してもらいたい

2008年7月7日 洞爺湖

G8 諸国が腐敗防止について約束したことのフォローがなければ、貧困問題の解消という必須の目標達成がいつそう困難になる。また、環境への対応策も脅かされる。トランスペアレンシー・インターナショナルは、2008年の洞爺湖サミットの前夜、こう警告した。

「基本的なサービスが受けられない、公的資源が無駄に使われて枯渇する、強欲によって制度が墮落する。世界には腐敗の犠牲になっている社会的弱者がまだたくさんいる」とトランスペアレンシー・インターナショナル代表の Huguette Labelle は言う。「世界で最も強力な経済大国が集まる G8 は、将来の世代がこれ以上腐敗と貧困に苦しまなくてすむように、また、おそらく世界が直面するこれまでに最大の課題である気候変動が人間社会に与える影響を減らすことができるようにする絶好の機会を手に入れている。」

最近発表された G8 のプロGRESSレポートを参照しながら、トランスペアレンシー・インターナショナルは、過去6つのサミット、特に2005年のグレンイーグルスおよび2007年のハイリゲンダムで行われた腐敗防止のコミットメントに言及した。腐敗防止に取り組む世界的ネットワークであるトランスペアレンシー・インターナショナルは、海外での贈賄の取り締まり、腐敗に対する世界的な法的枠組みの強化、盗まれた公的資産の返還、石油およびガス部門での透明性の増加など、の一連の課題群に対して次なる大きな一歩を踏み出すことを、G8の議長国、日本に期待していた。

「われわれは、日本政府がこれまでの腐敗防止のコミットメントについての G8 諸国の進捗状況を公表すると約束したことを歓迎する」とトランスペアレンシー・ジャパンの代表、黒田達郎は述べた。「われわれはさらに進んで腐敗に対して今後どのようにグローバルな行動を取るのか、明瞭で確たる道筋を示すことを要求する。これは行き詰まった民主主義から、健康や教育面で十分なサービスが受けられない数十億の人々の

現況に至るまで、われわれが直面する複雑な問題に対処するために、最小限やらなければならぬことである。」

と述べた。

ロシアのメドヴェージェフ大統領が7月2日水曜日に行われたロシア連邦議会で公表した腐敗への戦いへの呼び掛けに言及して、トランスペアレンシー・インターナショナル代表の Labelle は次のように述べた。「メドヴェージェフ氏の腐敗に対する強い呼びかけを歓迎する。われわれは彼が G8 の場を利用して、国際的な運動を強く推進することを期待している。グットガバナンスは、まず自国から始まるのだが、当然ながらそこで終わるのではない。腐敗に国境はない。グローバルな解決策が求められている」

トランスペアレンシー・インターナショナルは G8 に以下のさらなる行動を求めている：

海外贈賄の防止

・イギリス、日本を含む G8 のいくつかの国は、自国企業の海外贈賄への対応が不十分である。

腐敗に対するグローバルな法的枠組み

・国連腐敗防止条約は、この種のものとしては唯一グローバルな条約であるが、何度も「遅延なく」批准すると公約されているにもかかわらず、去年、今年および来年のサミット議長国であるドイツ、日本、イタリアは、この条約を批准していない。

悪用に対する金融市場および諸機関の悪用の防止対策

・G8 は、世界金融市場、主要な金融センターおよび諸機関、そしてオフショアセンターが、腐敗資金の移動や預託や資金洗浄および投資のために悪用されないよう、いっそうの対策を講じなければならない。

石油、ガスおよび鉱山採掘における透明性の確保

・採掘産業における腐敗は資源から得られた富を少数のエリートと採掘企業の手にゆだねてしまう。企業および産出国による詳細かつ徹底した報告が標準にならなければならない。たとえば、採掘産業透明性イニシアティブ(EITI)はひとつの有効な枠組みである。G8 諸国は財政的に、また、メンバーとなることによって、これを支援すべきである。

メディアコンタクト:

トランスパレンシー・インターナショナルの報道官、Jesse Garcia は 6 日から 9 日まで IMC の現場に滞在しており、+81 (0) 90 9967 6076 もしくは e-mail jgarcia@transparency.org でコンタクトが可能。

日本:

Jesse Garcia / Toyako IMC

Mob +81 (0) 90 9967 6076

jgarcia@transparency.org

ベルリン:

Nadja Kostka

Tel: +49-30-34-38-20-666

Fax: +49-30-34-70-3912

nkostka@transparency.org